

オーストラリアレポート

豪州財政収支は黒字化に向け計画を上回る改善示す

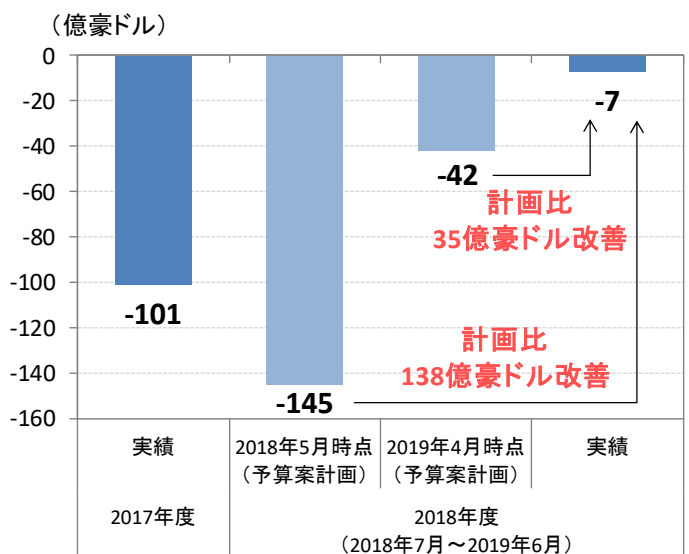
- 豪州政府の2018年度基礎的財政収支は、財政均衡目前の-7億豪ドル（GDP比-0.03%）まで赤字が縮小。
- 鉄鉱石価格上昇による企業収益の改善や、雇用増加などが財政収支改善に寄与。
- 政府が計画する2019年度財政黒字化の実現性が高まる。2019年度以降の財政見通しは上方修正される可能性も。
- 市場で豪州準備銀行（RBA）への追加利下げ要求が増す中、今後は追加の財政出動の行方にも注目が集まる。

2018年度財政収支は計画を上回る改善示す

豪州政府が9月19日に公表した2018年度（2018年7月～2019年6月）基礎的財政収支は、財政均衡目前の-7億豪ドル（GDP比-0.03%）まで財政赤字が縮小しました。これは政府が2019年4月に公表した予算案計画と比べて35億豪ドルの赤字改善です。また、2018年5月公表の当初予算案に対しても138億豪ドルの大幅な改善となりました（図表1）。

豪州政府は、財政収支が計画を大きく上回って改善した要因として、①鉄鉱石価格上昇などによる企業収益の改善（法人税収の増加）や、②予想を上回る雇用増に伴う個人所得税収の増加などを挙げています。

図表1：豪州政府の2018年度基礎的財政収支（計画と実績）



(出所) 豪州財務省

(注) 基礎的財政収支は政府系ファンドの収支を除いた財政収支（一般政府ベース）。年度は各年7月～翌年6月。

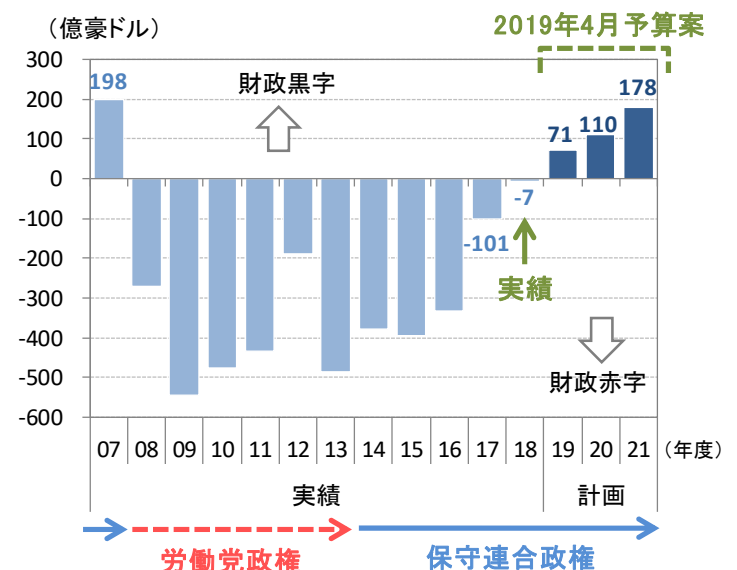
2019年度の財政黒字化の実現性が一段と高まる

2018年度の財政収支が財政均衡目前まで改善したことで、豪州政府が計画する「2019年度の財政黒字化」の実現性が一段と高まっています。

2019年4月公表の予算案では、2019年度基礎的財政収支は71億豪ドル（GDP比0.4%）の黒字となると計画されており、財政黒字の規模は2021年度には178億豪ドル（GDP比0.8%）へ拡大すると見込まれています（図表2）。

2018年度までの財政収支の実績が計画を上回る改善傾向にあることから、2019年12月公表の半期財政見通しや2020年5月公表の予算案では、2019年度以降の政府の財政見通しが上方修正される可能性も高いと考えられます。

図表2：豪州政府の基礎的財政収支の実績と計画



(出所) 豪州財務省

(期間) 2007年～2021年（年度）

(注) 基礎的財政収支は政府系ファンドの収支を除いた財政収支（一般政府ベース）。年度は各年7月～翌年6月。

今後は追加の財政出動の行方にも注目集まる

足元の豪州金融市場では、雇用環境の停滞から豪州準備銀行（RBA）への追加利下げ要求が増しており、豪州政府の財政政策の余裕度が増していることから、今後は追加の財政出動の行方にも注目が集まりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>